

OHCA 特別委員会企画オープンミーティング

合同企画1 心肺蘇生レジストリー報告

～JAAM-OHCA レジストリーの展望と課題 開催のご案内

2016年5月6日

日本救急医学会
院外心停止例救命のための効果的救急医療体制・
治療ストラテジの構築に関する学会主導研究推進
特別委員会 (OHCA 特別委員会)
委員長 森村 尚登

JAAM OHCA特別委員会では、『心停止症例の蘇生に関わるデータを収集し、客観的な検証を行うことにより、地域の心停止例の救命率を向上させること』を目的に、JAAM多施設共同院外心停止レジストリーを開始しました。本レジストリーはPDSA (plan, do, study, act) サイクルに基づくマネジメント手法による地域救急医療体制の質の向上が目標であり、各地域の現況を反映するために、参加施設が地域をカバーできるよう多くの皆様のご理解とご協力が欠かせません。

このたび、日本臨床救急医学会総会・学術集会期間中にオープンミーティングを開催し、レジストリーの趣旨、現状を紹介し、広く意見を交換する機会をいただきました。現場の皆様との情報共有、意見交換がレジストリー発展に欠かせないと考えております。是非、ご参加ください。

OHCA 特別委員会企画オープンミーティング 合同企画1 心肺蘇生レジストリー報告 ～JAAM-OHCA レジストリーの展望と課題

日時：平成28年5月13日(金) 17:30～18:30

会場：ビッグパレットふくしま 第4会場

<http://www.fukushima.med.or.jp/19JSEM/>

内容：

座長

嶋津岳士 (大阪大学医学部附属病院 高度救命救急センター, OHCA 特別委員会担当理事)
石見 拓 (京都大学 環境安全保健機構 附属健康科学センター, 同委員)

演題

1. レジストリーの目的と展望：

名知 祥 (岐阜大学医学部附属病院 高度救命救急センター, 同委員)

2. レジストリーの内容：

遠藤智之 (東北医科薬科大学病院 救急科, 同委員)

3. レジストリーへの参加方法と解析の提案方法：

櫻井 淳 (日本大学医学部 救急医学系救急集中治療医学分野, 同委員)

4. 登録の課題と工夫：

六車 崇 (横浜市立大学附属市民総合医療センター 高度救命救急センター, 同委員)

5. よくある質問：

田原良雄（国立循環器病研究センター，同委員）

6. 質疑応答

概要：

我が国では、2005年から、消防機関による院外心停止（OHCA）例の全例登録がはじまり、様々な知見が得られるようになった。しかし、現在のOHCA登録は病院前の情報中心であり、病院到着後の医療情報の共有は不十分である。地域の救急医療を評価するためには、OHCAの搬送先病院の治療体制、病院到着後の医療情報を登録し、病院前の情報と連結して検討を進める必要がある。

日本救急医学会では、「心停止症例の蘇生に関わるデータを収集し、客観的な検証を行うことにより、心停止例の救命率を向上させること」を目的に、2015年6月からOHCAの病院搬送後のレジストリを開始し、2015年10月末現在で、9022件の症例を登録した。本レジストリでは、1. PDSAサイクルに基づくマネジメント手法による地域救急医療体制の改善業務の支援、2. 救急医療に関わるレジストリの集約と登録業務の軽減、3. 救急蘇生領域の臨床研究と疫学研究の促進、4. 客観データに基づくフィードバック／ベンチマーキングの4目標を掲げている。蓄積されたデータを共有し、一定のルールの下で広く活用することを目指しており、レジストリの現状と課題、解析提案のルールなどを紹介し、皆様とオープンに議論を深めたいと考えている。